

2025年度事業計画

2025年4月1日から2026年3月31日まで

1. 教育備品の寄贈について

学校教育のより一層の発展と向上を図るため、富山県、石川県、福井県および北海道における中学校および高等学校に対し、教育用備品および教材などを寄贈する。

- (1) 今年度、理事会にて意見があった物価高等を考慮し、寄贈金額を1校あたり、25万円から30万円へ増額したい。寄贈予算総額も500万円から600万円に増額としたい。また、30万円を超える物品の要望があった場合の上限金額も35万円以内から40万円以内に引き上げたい。(差額については学校側が負担として可)
- (2) 寄贈対象校数は、例年同様の20校(中学校10校、高等学校10校)とする。
- (3) 寄贈時期は原則、11月とするが、物品納入などを考慮して柔軟に対応する。

＜2024年度の地区別予算および対象校の配分内訳＞ (単位：万円)

地区別 学校別	富山県	石川県	福井県	北海道	合 計
中学校	100 (4校)	100 (4校)	25 (1校)	25 (1校)	250 (10校)
高等学校	100 (4校)	100 (4校)	25 (1校)	25 (1校)	250 (10校)
合 計	200 (8校)	200 (8校)	50 (2校)	50 (2校)	500 (20校)

※令和6年能登半島地震を考慮して石川県への寄贈を手厚く設定した。



＜2025年度の地区別予算および対象校の配分内訳＞ (単位：万円)

地区別 学校別	富山県	石川県	福井県	北海道	合 計
中学校	120 (4校)	120 (4校)	30 (1校)	30 (1校)	300 (10校)
高等学校	120 (4校)	120 (4校)	30 (1校)	30 (1校)	300 (10校)
合 計	240 (8校)	240 (8校)	60 (2校)	60 (2校)	600 (20校)

2. 文化事業等支援について（2024年度と変更なし）

(1) 富山県中学校文化連盟への補助

<活動計画概要>

富山県下中学校の文化的活動を総合的に推進するため、1995年6月に設立された富山県中学校文化連盟の活動に賛同し、その運営を支援する。

<補助内容>

- ・補助対象 第30回 富山県中学校文化祭運営費として
- ・補助時期 2025年8月
- ・事業費 50万円（2024年度と同額）
- ・その他 財団の後援名義の使用

【参考】第30回 富山県中学校文化祭について(予定)

日時	2025年10月5日(日)
会場	富山県民会館
内容	美術、音楽、意見発表、科学、放送、郷土芸能、演劇、新聞・文芸、書道、茶道、特別展示（手芸・家庭・華道・その他）

(2) 部活動応援企業事業

<活動計画概要>

富山県が募集している「部活動応援企業」に登録し、「運動部」に対して財政的に支援を行う。当該部活動より申し出のあった、物品などに対して、事業費を上限とし財政的支援を行う。

<補助内容>

- ・補助対象 富山県・各市町村より推薦のあった部活動
- ・補助時期 2025年12月まで
- ・事業費 50万円（2024年度と同額）

3. 国際交流事業について（2024年度と変更なし）

わが国とアジア諸国との相互理解の促進および将来世界で活躍できる人材の育成に寄与することを目的に、アジア諸国との教育交流に取り組んでいる学校や教育団体に対する助

成などの事業を実施する。このアジア諸国との教育交流に対する予算額は30万円とする。

(助成校実績)

2015年度	高岡商業高校	2019年度	泊高校
2016年度	滑川高校	2020～ 2022年度	該当なし（コロナで海外研修中止）
2017年度	南砺平高校	2023年度	伏木高校
2018年度	富山中部高校	2024年度	南砺福野高校

4. 事業総額について

(1) 2025年度の事業の予算総額については寄贈金額を100万円増額したことにより、

741万円とする。財団全体の運営費は806万円程度を予定している。内訳は下表。

費目	2024年度予算	2025年度(案)	差額
寄贈物品費	5,000,000円	6,000,000円	1,000,000円
寄贈物品送料等諸掛 <small>(振込手数料等)</small>	100,000円	100,000円	0
文化事業等支援	1,000,000円	1,000,000円	0
国際交流事業	300,000円	300,000円	0
選考委員会費	10,000円	10,000円	0
事業費計	6,410,000円	7,410,000円	1,000,000円
管理費(通信費、雑費など)	650,000円	650,000円	0
経常費用	7,060,000円	8,060,000円	1,000,000円

(2) 寄贈額増額100万円については、財団の今年度の収支状況より可能と考える。

また、「遊休財産額保有制度」(認定法第5条)により、翌年度の遊休財産額(手元資金)が事業費用を超えてはならない。よって、事業費用を増額し、より充実した事業内容といたしたい。

	経常収益	経常費用	収支	運用資産期末残高 (手元資金)
2024見通し	8,275,225円	6,464,253円	※1,810,972円	5,283,809円
2025予算	8,428,000円	8,060,000円	368,000円	5,651,809円

※2024年度運用資産の期首残高は3,472,837円

以上

2025年度収支予算書案(損益計算方式)

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科目	2025年度 予算額	2024年度 予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	8,428,000	5,350,159	3,077,841	
基本財産利息受取	1,060,000	1,423	1,058,577	
基本財産受取配当金	注① 7,368,000	5,348,736	2,019,264	注① ほくほくFG普通株の 配当金は今年度並みを 想定
② 受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	
③ 雑収益				
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	8,428,000	5,350,159	3,077,841	
(2) 経常費用				
① 事業費				
寄贈物品費	6,000,000	5,000,000	1,000,000	
寄贈物品送料等諸掛	100,000	100,000	0	
文化事業等支援	1,000,000	1,000,000	0	
国際交流事業	300,000	300,000	0	
選考委員会費	10,000	10,000	0	
事業費計	7,410,000	6,410,000	1,000,000	
② 管理費				
会議費	100,000	100,000	0	
通信交通費	100,000	100,000	0	
会費	100,000	100,000	0	
消耗什器備品費	100,000	100,000	0	
消耗品費	50,000	50,000	0	
雑費	200,000	200,000	0	
管理費計	650,000	650,000	0	
経常費用計	8,060,000	7,060,000	1,000,000	
当期経常増減額	368,000	-1,709,841	2,077,841	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減計	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	368,000	-1,709,841	2,077,841	
一般正味財産期首残高	5,283,809	3,486,842	1,796,967	
一般正味財産期末残高	5,651,809	1,777,001	3,874,808	
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,060,000	1,423	1,058,577	
基本財産受取配当金	7,368,000	5,348,736	2,019,264	注①に同じ
② 一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	8,428,000	5,350,159	3,077,841	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	432,566,360	388,077,008	44,489,352	
指定正味財産期末残高	432,566,360	432,566,360	0	
III 正味財産期末残高	438,218,169	434,343,361	3,874,808	